



～第60回(社)日本透析医学会 学術集会・総会にて発表～  
**耐酸性カプセル入りビフィズス菌を摂取による血液透析患者の便秘改善と心理変化による QOL 向上作用を明らかに！**

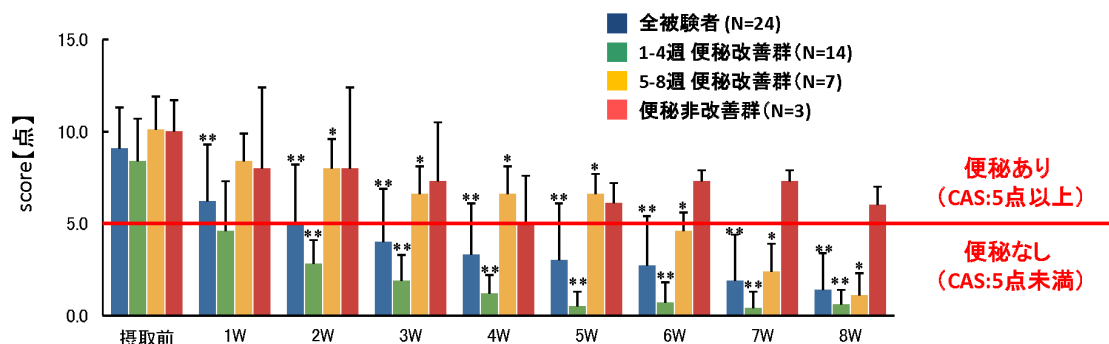
森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区/代表取締役社長:駒村純一)は、「ビフィズス菌による透析患者の便秘改善作用と心理変化による QOL 向上作用」について、「第60回(社)日本透析医学会学術集会・総会(2015年6月26日(金)～6月28日(日)、於:パシフィコ横浜)」にて、桃仁会病院、兵庫県立大学、淀川キリスト教病院と共同発表いたしました。

これまでの研究により、弊社のビフィズス菌を生きのまま腸まで届けるシームレスカプセル製剤(以下、ビフィズス菌カプセル製剤)の摂取によって、血液透析患者の血中リン値が低下すること(Ogawa T., et al., *Clin Kidney J*, 5:373, 2012)や腸内環境を改善することが報告されています。

本研究では、慢性的な便秘を有する慢性維持血液透析患者24名(解析対象者)に、8週間ビフィズス菌カプセル製剤を摂取して頂いたところ、21名(87.5%)に便秘の改善が認められました。また、摂取前と比較して、心理面を評価するスコア(The Patient Assessment of Constipation Quality of Life Questionnaire (PAC-QOL))が有意に低下し、QOLの向上が認められました。さらに、早期に便秘が改善した群(1～4週目に便秘改善)では、血清リン値が有意に低下する作用もみられました。

ビフィズス菌カプセル製剤の便秘改善作用 (日本語版便秘評価尺度による評価)

CAS(日本語版便秘評価尺度)合計得点



平均値±標準偏差, \*p<0.05, \*\*p<0.01 (vs 摂取前)

※便秘傾向が強いほど、CASのスコアは高得点となる。

当社は、今後も、確かなエビデンスのもと、安心して安全な商品をご利用頂けるよう更なる安全性・信頼性の向上を図り、皆様の健康増進に寄与して参ります。

【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 広報宣伝G 担当:磯部・本山 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108  
共同PR株式会社 第六業務局 担当:長尾・呉 TEL:03-3571-5236 FAX:03-3574-1005

